

授業科目(ナンバリング)	世界遺産保全管理論(CB305)			担当教員	川上 直彦・中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>まずユネスコ世界遺産に登録されるまでのユネスコの枠組み等に関して講義をつうじ理解を深め、そしてその後、ユネスコ世界遺産に登録されている世界遺産について学んでいく。前半は川上が担当し、ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料を利用し、演習形式で授業を展開する。後半は中島が担当し、主に日本の世界遺産の管理・保全についてグループワークを行い、より望ましい世界遺産の管理・保全についてディスカッションを行う。</p> <p>そして、ユネスコ世界遺産への登録の重要性、限界、改善の必要性等について考察し、理解と専門知識を深めることを目的とする。</p>							①⑤ ⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ユネスコ世界遺産とその活動に関して基礎から専門的知識までを理解し、ユネスコ世界遺産の枠組みを超えて、人類にとってかけがえない世界遺産に関する事項について説明することができる。				レポート	25%	
情報収集、分析力	ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から情報収集・分析を講義・演習を通じて行い、レポートを作成することができる。				授業参加度・態度	15%	
コミュニケーション力	ディスカッションを行うことで、世界遺産の保全・管理についての多様な意見を把握できると同時に、意見交換によるコミュニケーション能力を涵養できる。				授業参加度・態度	15%	
協働・課題解決力	ユネスコ世界遺産とその背景について考え、ユネスコ世界遺産の重要性について他学生と協議し、外部に発信することができる。				プレゼンテーション	15%	
多様性理解力	社会人としてユネスコ世界遺産に関する基礎知識と教養を身につけ、人類共有の世界遺産について論述することができる。				レポート	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 作成したレポートの平均点を全体の 55%として評価する。レポートのフィードバックは、適宜授業にて行う。 第 10 回～14 回に実施するプレゼンテーションおよび資料作成に対する貢献度を全体の 15%として評価する。 通常授業およびディスカッションへの参加度・態度を合計して、全体の 30%として評価する。 							
授業の概要							
<p>前半は川上が担当し、はじめにユネスコ世界遺産に登録されるまでのユネスコの枠組み等に関して理解を深め、その後、ユネスコ世界遺産に登録されている、世界遺産に関して勉強していく。演習形式で授業を展開し、ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料を利用し、履修生自身が興味のある世界遺産を 2 つ選択し、レポートとしてまとめる。</p> <p>後半は中島が担当し、日本の世界遺産の保全・管理をテーマにグループワーク主体の授業を行う。まず、概要を講義したのちグループに分かれ、日本の世界遺産の中から一つを選んで文献調査し、その保全・管理についてプレゼンテーションを行う。最終的に、これまで学んだ内容を基に、望ましい世界遺産の保全・管理について、授業内全体でディスカッションを実施する。プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加態度も評価に含めるので、積極的な参加を求める。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に定めないが講義時のプリント等をレジュメとしてこれに替える。</p> <p>参考書：適宜プリントを配布する。</p> <p>指定図書：『世界の歴史』全 16 巻、中央公論社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産に関するニュースや新聞記事を注視してほしい。 世界遺産に関係する遺跡や博物館・美術館を観光する機会を持ってほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	はじめに シラバス説明	・授業全体の導入と説明。 (川上)	予習：シラバスを読んでくる 復習：今回の復習
2	ユネスコ世界遺産について (1)	・ユネスコ世界遺産保全部論を考える視点 ・ユネスコ世界遺産の理念と制度 (背景・歴史・目的・意義等) について学ぶ (1) ・小テスト (川上)	予習：ユネスコという言葉を探 復習：今回の復習
3	ユネスコ世界遺産について (2)	・ユネスコ世界遺産の理念と制度 (背景・歴史・目的・意義等) について学ぶ (2) ・小テスト (川上)	予習：ユネスコという言葉を探 復習：今回の復習
4	ユネスコ世界遺産 (1)	・ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から世界遺産の情報収集・分析 (1) ・レポート作成 (川上)	予習：ユネスコの公式英語サイトを調べる 復習：今回の復習
5	ユネスコ世界遺産 (2)	・ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から世界遺産の情報収集・分析 (2) ・レポート作成 (川上)	予習：世界文化遺産について調べる 復習：今回の復習
6	ユネスコ世界遺産 (3)	・ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から世界遺産の情報収集・分析 (3) ・レポート作成 (川上)	予習：世界自然遺産について調べる 復習：今回の復習
7	ユネスコ世界遺産 (4)	・ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から世界遺産の情報収集・分析 (4) ・レポート作成 (川上)	予習：世界複合遺産について調べる 復習：今回の復習
8	ユネスコ世界遺産 (5)	・ユネスコの公式英語サイトである「UNESCO World Heritage Center」に掲載されている英語史料から世界遺産の情報収集・分析 (5) ・レポート作成 (川上)	予習：世界危機遺産について調べる 復習：今回の復習
9	日本の世界遺産(1)	・日本の世界遺産の概要と保全・管理の現状説明 (中島)	予習：日本の世界遺産について調べる 復習：今回の復習
10	日本の世界遺産(2)	・少人数の班に分かれ、日本の世界遺産を一つテーマとして、その保全・管理についてグループワークを実施 (中島)	予習：テーマとする日本の世界遺産について調べる 復習：決定した世界遺産の保全・管理について調査
11	日本の世界遺産(3)	・グループワークした内容をまとめ、プレゼンテーション用の資料(パワーポイント、レジュメ等)を作成 (中島)	予習：プレゼンテーション資料作成の材料を集める 復習：資料の作成
12	日本の世界遺産(4)	・プレゼンテーション用の資料作成と、リハーサル (中島)	予習：資料の作成 復習：リハーサルの実施
13	日本の世界遺産(5)	・プレゼンテーションの実施	予習：発表のリハーサルと質疑応答に対する準備 復習：相互評価結果の確認と反省
14	日本の世界遺産(6)	・発表班以外は発表内容を審査し、相互評価を実施 (中島)	
15	ディスカッション	・望ましい世界遺産の保全・管理について、授業内全体でディスカッションを実施 (中島)	予習：前回までの授業を再考し、世界遺産の保全・管理について考察 復習：ディスカッション結果を再考